

長崎県中学校総合体育大会 出場選手心得

長崎県中学校体育連盟

1 提案の趣旨

長崎県中学校総合体育大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体育・スポーツの振興並びに体力・技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学校生徒を育成するとともに、生徒相互の親睦を図ることを目的として、昭和28年度より開催されている歴史ある大会である。長崎県内、各郡市町において厳しい予選を勝ち抜いた精鋭たちが、感謝の心を育て、友情の輪を広げながら、力と技を競い合い、多くの人たちに感動とその充実感を、胸に刻みこんできた長崎県中学生最高の歴史ある大会といえる。

また、本大会が、生徒の健全育成に果たしている役割は絶大なものと自負する。しかし、このように重要な教育活動として定着している本大会にも関わらず、近年生徒のマナーの低下や規範意識の薄い出場者の存在が指摘されていることも事実である。本大会は、各郡市町の予選を勝ち抜いてきた選ばれた生徒だけが出場できる大会ではあるが、単に長崎県チャンピオンを決める大会だけではないはずである。あくまで教育活動の一環として取り組む性格を重視する大会である。したがって、本大会の運営に当たっては、成長過程にある中学生たちが純粋にスポーツを通して、かけがえのない貴重な経験ができるよう、十分な教育的配慮を施す必要があると考える。

そこで、生徒自身にとって、現在および将来にわたり非常に価値ある大会である各予選大会、県中総体、九州大会さらには全国大会等の参加について、指導者としての熱い思いをよせて、下記の参加心得を提案したい。

2 長崎県中学校総合体育大会出場選手心得

一 感謝

大会出場は、選手自身の日頃たゆまぬ努力があってこそである。しかし、その出場の陰には、苦しい時や悲しい時に励ましてくれた仲間や家族、情熱を注ぎ日々指導してくれた多くの指導者の方々、期待を寄せて送り出してくれた地域の方々、さらには、大会運営のために頑張ってくれた多くの関係者の方々。各々の心からの応援や努力の支えがあることを、決して忘れてはならない。

(大会参加の喜びと同時に、数多くの方々への感謝の心を持たせたい。)

二 マナー

学校教育活動の一環としての部活動を通して、その競技のルールやマナーを守ることは日常的に行われていることである。大会に際しては、「最後まで諦めず全力を尽くすこと。勝敗にかかわらず、相手チームおよび個人を称えること」等、この特別な機会をとらえ、一選手・一参加者として、その競技のルールやマナーを守り、中学生らしい言動や態度を身につけなければならない。

(人間としての生き方から、高いマナーを求めていきたい。)

三 勝負

勝つためだけが目的では無いはずである。しかし、大会である以上、試合に勝敗はつきものである。当然ながら、誰もが「勝ちたい。勝って喜びたい」そう願っているのである。その願いが結集して、レベルの高い大会となっていくのである。しかし、結果は結果でしかない。決して、勝った選手がすばらしい人間であり、負けた選手が駄目な人間ということではないはずである。相手を尊重し合い、自分のもてる力を最大限発揮し、全力で戦ってほしい。

(指導者がそれに真剣に目を向け、そして選手に気づかせていきたい。)